

新技術新製品の「DNAの栄養」の開発

新製品「DNAの栄養」は、健康食品やサプリの選択における情報過多の混乱を解消し、人々の健康と幸福を追求する革新的な製品です。これは細胞内のDNAに働きかけて活性化を促し、予防医学の考え方に基いて健康をサポートします。14年以上に亘る長年の研究と先端技術を駆使し、世界初の「生命科学サプリメント」として生まれた「DNAの栄養」は、大阪大学の平野俊夫教授による優れた業績に裏打ちされています。

「DNAの栄養」は、細胞の機能を最大限に引き出し、健康を維持することに焦点を当てています。その効果は副作用を気にすることなく、深刻な疾病にも対応します。この製品はサクラホスピリクティクで外国人に対応したクリニックとして提供され、専門家のサポートにより正確な情報と利用方法が提供されます。

私たちの使命は、最新の科学技術を駆使して予防医学の実践に取り組み、人々の健康と幸福をサポートすることです。皆様の健康状態を向上させるために、常に研究と情報に基づいた製品を提供しています。お気軽にお問い合わせいただき、より良い健康状態を実現するための支援をお受けください。

「DNAの栄養」で本来持っている機能を最大限に引き出し、健康な未来を手に入れましょう。詳細はサクラホスピリクティクまたは弊社ウェブサイトでご確認ください。

■ 平野俊夫：大阪大学医学部

2011年～2015年まで大阪大学総長

2016年～2023年まで国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構理事

同氏は、インターロイキン-6の発見と作用機序の解明で著名。

■ インターロイキン-6は、炎症や免疫反応に關与するタンパク質のこと。同氏は、インターロイキン-6の分離と構造を解明し、その作用機序を明らかにした。同氏の研究は、炎症性疾患や自己免疫疾患の治療につながるものと期待。

同氏は、インターロイキン-6の発見と作用機序の解明により、クラフトオード賞、日本国際賞、業績顕彰などの賞を受賞している。

■ 生命科学研究所を創設し、本製品「DNAの栄養」14年の歳月をかけ、世界初の「生命科学サプリ」が誕生した。■ クラフトオード賞とは、スウェーデン王立科学アカデミーが主催し、ノーベル賞では扱われない天文・数学・生物学・地球科学、および国際的に関する優れた業績を上げた研究者を表彰する。

DNAの栄養は、細胞組織の何処で活躍するのか？



これがDNAです。DNAは生命の設計図！壊れたらどうなりますか？

修復が間に合わないDNAの複製・転写の妨害、細胞死や染色体の不安定化を引き起こす。

DNAの損傷は、1日のうち1細胞あたり数回～百万以上も発生

DNA修復は、細胞が正常な機能を発揮し、生存するために必要不可欠な機能なのです。

癌化へ

DNAの栄養でDNA修復



あなたの身体の設計図を正常にする!

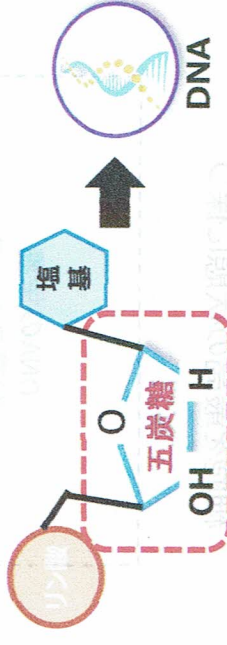
「DNAの栄養」

月9,000円で細胞から健康に

新技術「DNAの栄養」とは？

細胞を構成しているDNAを正常に保つには何が必要？

この五炭糖はDNAの大事な構成要素：新開発された錠剤に含有された五炭糖がDNAにまで届くスーパーサプリ「DNAの栄養」が、登場したのです。



● DNAの栄養とは、五炭糖です。五炭糖は、食事など外部から摂取するのは難しい。とはいうものの通常のサプリでは体外に流れてしまうのです。

● わたしたちの身体は、損傷を受けているDNAをどんどん修復しなければなりません。

● 老化やその他の要因により修復機能が低下するとDNA遺伝子からのタンパク質生成能力に問題が発生して、正常な機能維持や寿命に影響を及ぼすのです。

● 五炭糖をDNAに取り込みませDNAの働きを活性化・正常代謝・老化による減少した生命維持物質を回復し、健康に導きます。

セントラルドグマ

● DNAの設計図により各細胞が生成される過程をセントラルドグマと呼んでいます。

● 生命科学の特殊技術でセントラルドグマを正常に（世界初のリアルタイム）動くようになります。

● 新細胞の生成には、セントラルドグマというDNAの遺伝情報によるタンパク質（新細胞）生成が行われます。

セントラルドグマ



DNAの損傷は毎日起きている。

DNAを傷つける原因は、放射線以外にも、食物の中の発がん物質、たばこ、環境中の化学物質、活性酸素等があり、一日1細胞当たり、1万から100万箇所の頻度でDNAが損傷を受けているといわれています。

「DNAの栄養」は、何を期待できるのか？

体調不良・肥満・糖尿病・高血圧・癌・脳梗塞・心筋梗塞・動脈硬化
脂質異常・うつ改善・喘息・不眠症・アトピー・アレルギー

学生に集中力・登校拒否・倦怠・やる気不足・ストレス性ハゲ・白内障・老化防止など

DNA損傷 糖尿病原因

日本の糖尿病患者さんの約90%が2型糖尿病だといわれています。日本人は遺伝的にインスリン分泌が弱い人が多いといわれています。遺伝的な体質に過食（特に高脂肪食）、運動不足、肥満、ストレスなどの生活習慣や加齢といった要因が加わり、発症するとされています。

DNA損傷 癌

癌は、異常な細胞増殖と腫瘍の形成を特徴とする疾患です。癌の原因は複数あり、遺伝的な要素や環境要因が関与しています。DNAの変異や損傷が癌の発症や進行に重要な役割を果たします。

DNA損傷 紫外線と皮膚がん

DNA損傷を引き起こす身近な要因の一つとして**紫外線**が挙げられます。紫外線によりゲノムDNAが損傷すると、DDB1とDDB2から成るタンパク質複合体（UV-DDB）が損傷を効率良く見つけて結合することで修復の開始を促進します。特にヒトDDB2遺伝子の変異は色素性乾皮症を引き起こし、**紫外線による皮膚がんのリスクを著しく高めることが知られています。**

お問い合わせ



DNA NUTRITION

Eight Oceans Holdings Co., Ltd

DNAの栄養 Gene Vitality

常に生まれ変わる37兆個の細胞を最高の状態に保つ



Eight Oceans Holdings Co., Ltd